

2013年1月15日 JR東日本 「図で考える人は仕事ができる」①

考え方のプロセスを変え
る方法を学ぶ事ができた。

来年の応用編に向けて、もう一度基
礎編の復習をしたいと思います。

自ら考えるということ
を改めて思い知った。

図で説明することで、スムーズに頭
に情報が入ってくることを実感した。

仕事の優先順位を明確にすることができ、効率的に仕事
を進めていけるのではないかと感じた。仕事であれもこ
れもと頭がいっぱいになったときは、一息ついて、今回教
わった図を用いて活用し整理してみたい。と感じた。

図解による認識の簡単さに驚きましたが、そ
れよりも、説明を行うときの容易さを発見した。

企画や教育で図は活
用できると実感した。

図で書くことは文章よりも何倍もの労力が必要だが、その
分、理解が深まるのだと感じることができた。図の表現の
無限さに驚いた。JAL出身の方だからか、JRの風土を理解
されていると感じた。言葉にも納得できるものを感じた。

文章と図解の与えるインパクトの違い
に驚かされた。プレゼンテーションなど
に積極的に図解を取り入れたい。

最初はとても戸惑った。自分に足
りていないところがよく分かった。

自身の考える力も向上することを実感でき
た。資料作りやMy Project活動で実際に学
んだ図を活用していこうと考えている。

時間が足りなかった。

図によって性格も
分かり、面白い。

図で考えることができれば、自分の事と物
事を深く考えることができると感じた。

自分の仕事の図解は、意外と難しく苦戦し
ました。悔しかったです。発見の連続で非
常に楽しい時間を過ごすことができました。

1日1図作成を目指し
て頑張っていきたい。

図にするクセをつけて
今後はやっていきたい。

「図で考える」という事は、単純なよう
で、実におもしろい発想だと思った。

新鮮で印象に残った。職場の改
善活動やマイプロなどで表現で
きるようにしたいと思います。

自分自身が理解していない部
分が明確になった。プレゼン
テーションに活かしていきたい。

ホームページを図で説明
している部分に驚いた。

図解のスキルを上げていこうと思う。また、お客様に
対するご案内にも活かしていこうと思う。人生は30
才から大きく変えられるのかも希望が持てました。

箇条書きは、項目間の関係性という重要な情報が
欠けていることに気づいた。「図を描くことは深く考
える事」「図は国際言語」との言葉が印象に残った。

様々な表現方法
があると思った。

図を色々な場面で活
用し、自分自身の成
長につなげたい。

分かりやすく
勉強になった。

もっと図について勉強したい
ので、応用編も参加したい。

問題解決に積極的に使い
たい。図はコミュニケーシ
ョンツールの一つだと思った。

文章を書くよりも深く考えた。自分の成長を目指
すため、図解を利用して知識を身に着ける訓練
をしていく。外的世界をもっと見る努力をしていく。

今後の自分の仕事
や指導で使いたい。

頭の体操によさそう。プロ
グを楽しみにしています。

頭の体操になった。

なぜ箇条書きがダメなのか明確に説明してくれ
て分かりやすかった。頭を使う実習が多かった
ので、集中力が切れることなく受講できた。

同じ仕事をしていても図の書き方が違うため、新しい発見
がありました。考え方の違いや周りの環境の変化につい
て自分自身で気づくことができた。外的世界が広がった。

海外の方に説明するとき図の中
の単語をその国の言葉に変えるだ
けで良いことはすごいと思った。

2013年1月15日 JR東日本 「図で考える人は仕事ができる」②

理解しようと努力しながら作業なので、記憶に残ると実感しました。後輩等に教える際に図で表せるものは積極的に使っていこうと思います。

図解で、図形や記号、大きさを使い分けると意味合いが変わるのに驚きだった。職場の提案活動My Project に大いに活用していきたい。今回のグループワークで、様々な職場、部署の人と意見交換ができて良かった。

図には人それぞれの個性や考え方が出ることが分かった。

難しく考えてしまったので、もっと頭をやわらかく考え、図に書けばよかったと思った。図で書いた方が覚えられる。これからの業務に活かしていきたい。

とても分かりやすく明確であった。名刺などで活用してもよさそうですね。

考えながら図にすることで、明確になったもの、曖昧な部分を意識することができた。視野が狭くならないよう、今後もこの考え方を意識して取り組んでいきたい。

自分の仕事と周りの関わり方をここまで深く考えることはなかったと思います。課題などにぶつかった際は、図で整理し理解するために活用したいと思います。

理解度は、受け手ではなく、伝え手の技量、センスである事を痛感した。

こんなにも頭の使うことだとは思っていませんでした。だからこそ、分かりやすく事柄を明確にできることを身をもって感じる事ができました。社会の環境がものすごく早く変化していく今、図解を使用して今何が当社に必要なか、見極めることに活かしていきます。

図解を自分の武器にできるようにしていきたい。

図を描く際、紙面のどこに何を配置すべきか、かなり迷った。

同じ業種で働いている人でも、図がまったく違うものになったことに驚いた。新たな発見につながる良いツールになると思った。

図の書き出しに大変苦労した。久恒さんのHP、多摩大のHPを見て、図で見やすいだけでなく、タブレットやスマホで操作し易いと思った。

キーワード→図 でまとめていきたい。入試の国語を解いている時を思い出した。

次回参加できたら、時間をかけて書き方のコツを教わりたいです。

3時間は短いと思った。図は国際言語であるということがよく分かった。

図で書くのは新鮮だった。私の仕事の図は、無限にかけそうな気がした。人に伝わっていないのは、伝えた側が悪いという言葉は衝撃的でした。自分がどう考えて、毎日仕事しているのか見つめ直せた。

職場での立ち位置が分かった。仕事・プライベートで図で考える事を習慣づけたい。

論理回路図のような書き方にしてもおもしろいと思った。メモを、文章ではなく図で書いていこうと思います。

図で書くと全体が見通せて分かりやすいものになった。講義を受けて考え方が変わり、視野が広がった。他支社の方とコミュニケーションが取れた。

JR東日本が文書主義という意見に共感できた。この研修による変革を望んでいる。著書を読んで参考にしたいと思う。

仕事で重要なのは、業務知識と作文が書けるかだ。と入社早々言われていたので、本日の研修では大変ショックな事を聞きました。

図に対する情報力の大きさに圧倒された。

「文章で書いて覚えたことは忘れる。深い処理をした知識は身に付く」はその通りだと思った。

図は理解していないと書くことも説明もできない。今回は、「物事を理解する力」を学んだと思う。探究心を持って継続していけば、もっともっと新しい世界が広がると思うので、実践していきたい。

図での表現方法が身に付いた

時間がたつのが、あっという間だった。色々な気づきやヒントが得られて、面白かった。

興味深かった。「「てにをは」ばかりを指摘する上司は無能」は痛快でした。